

# DMATの活動は

- 被災地の医療を支援する。
- 被災地の医療従事者を支援する。
- 被災地では、必ず地元の医療がすでに活動している。
- 被災地での医療従事者に寄り添い医療機関を支えることを目的とする。



私は、飾り石のような華やかな人間となるより  
裏石のように目立たずとも人々を支える人間になることを望みます

赤十字救護看護婦・竹田ハツメさん

# 災害医療活動

防ぎえる災害による死亡、悲劇の低減

病院(入院患者)

施設(入所者)

被災地域(孤立集落、避難所、仮設、自宅住民)

病院支援

(物資、搬送、診療)  
病院避難  
広域医療搬送

施設支援

(物資、搬送、診療)

診療所等支援

(物資、診療)  
救護班等活動  
デイ施設等支援  
保健支援

緊急医療提供支援  
(救助現場、在宅)

施設を支える活動

# 災害医療支援とは

場所



状態



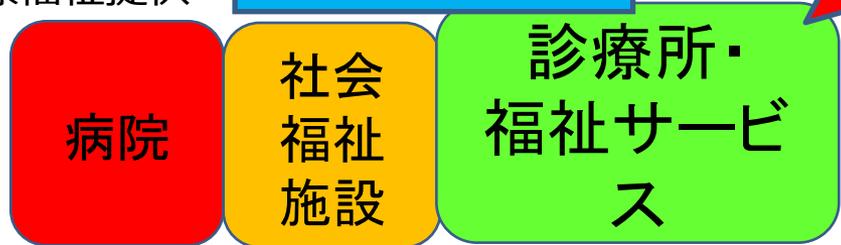
一時避難場所

福祉避難所

避難所



医療福祉提供



医療福祉提供体制・施設を支える

被災者の死亡・悲劇の低減

可能な限り元と同じ人生、生活を維持

医療支援



ライフライン  
生活物資  
医療資機材

転送  
避難  
広域搬送

診療  
救護所  
巡回診療

# DMAT基本活動

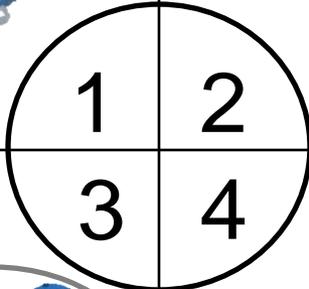
- 災害医療体制を確立
  - 都道府県、災害拠点病院に本部を設置
  - 医療機関等の被害状況を集約
- 被災医療機関・施設支援
  - 被害がありそうな施設を訪問
  - 困りごと(ニーズ)を正確に聞き取り分析
  - 方針確定、共有
  
  - インフラ・物資の課題⇒物資支援調整
  - 患者診療・救命困難
    - ⇒搬送支援(病院避難、広域医療搬送)
  - 診療ニーズ⇒診療支援

病院の混乱を収め、  
現有資源で最大の  
パフォーマンスがで  
きるようにする

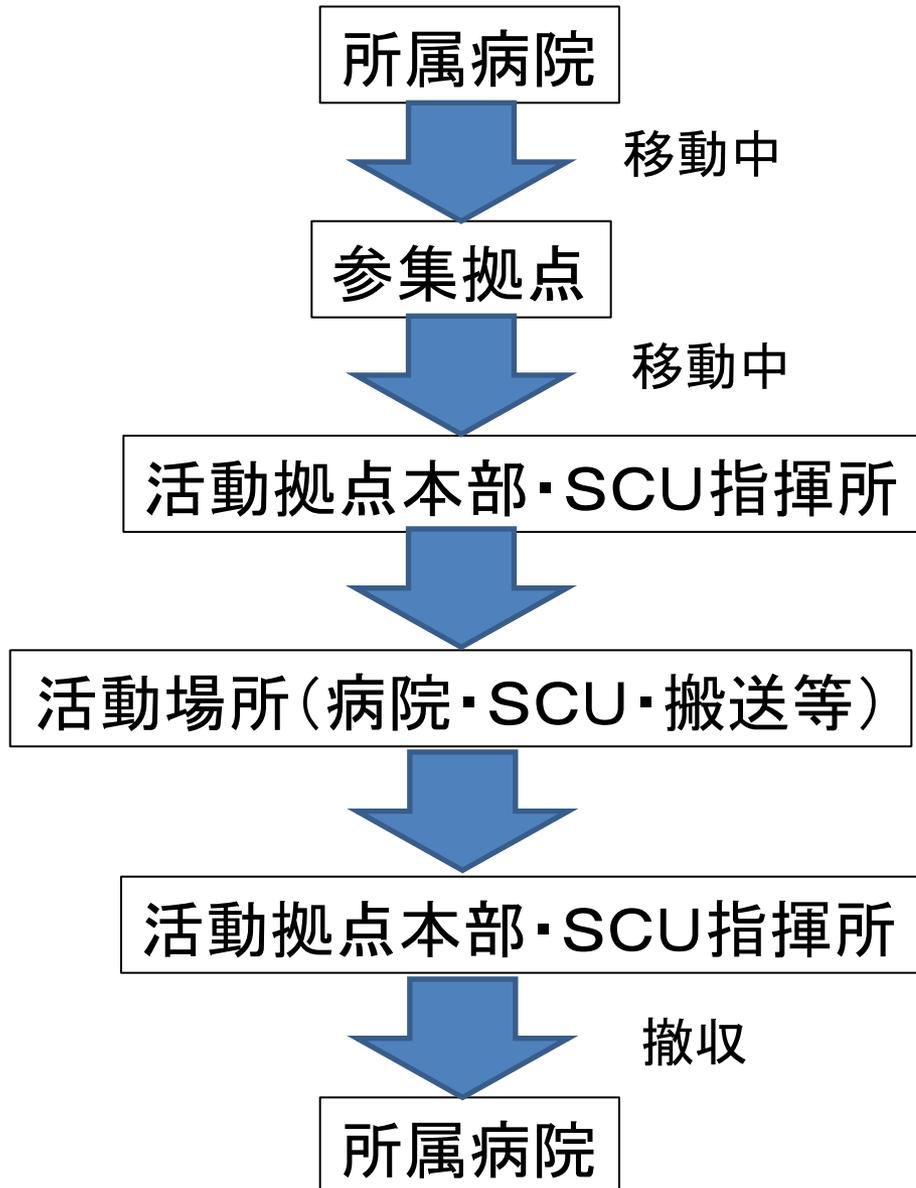
# 活動中のマナー

- ・支援者が被災地にできるだけ迷惑をかけないようにする
- ・コンビニやスーパーの食料品を買い占めない
- ・SNSの使用(フェースブックへの投稿など)については、被災者へ配慮する
- ・活動場所におけるマナーを遵守(ゴミ、喫煙場所)
- ・活動服を着ている時の行動には十分、気をつける





# DMATの所属本部(原則)





重要

# 災害時に収集すべき情報 METHANE Report

- M** Major incident : 大事故災害 「待機」または「宣言」
- E** Exact location : 正確な発生場所地図の座標
- T** Type of incident : 事故・災害の種類  
鉄道事故、化学災害、地震など
- H** Hazard : 危険性 現状と拡大の可能性
- A** Access : 到達経路 進入方向
- N** Number of casualties : 負傷者数 重症度、外傷分類
- E** Emergency services : 緊急対応すべき機関  
ー現状と今後必要となる対応

# 行路上の安全管理（例）

危険情報の評価

どのようなリスクがあるか？

リスクへの対策  
ゾーニング、PPE等

高リスク

- ・ 移動中の津波等の発生

ゾーニング

- ・ 沿岸部などリスクの高い地域を回避しての移動  
〈ハザードマップの活用〉

中リスク

- ・ 移動中の余震等の発生
- ・ 車両のトラブル
- ・ 気象条件悪化

余震等の発生時の対応

- ・ 本部への連絡（安否確認）

- ・ 燃料切れ

安全運行のための対策

- ・ 運行前の車両点検
- ・ 気象条件を考慮した装備  
（スタッドレスタイヤ等）

- ・ 運転手の疲労による事故発生等

- ・ 早めの燃料補給、携行缶の携行
- ・ 気象状況・交通規制を考慮した安全運転
- ・ 運転手の適切な休憩・交代
- ・ コンボイ

低リスク

危険情報の収集・連絡  
体制の確保

体制  
所属本部との連携

連絡手段

- ・ 衛星電話
- ・ E M I S
- ・ ラジオ、テレビ

# ガソリン携行缶について

- ガソリン、軽油は危険物
- 消防法令に適合した専用の金属製容器を使用すること  
(灯油用ポリ容器は不可)
- 1台の乗用車に搭載できるガソリンは22リットルまで
- セルフスタンドでの給油不可
- エア調整ネジを開けて、内部のガスを抜く等の作業が必要  
(取扱説明書に従って使用)

# ガソリン携行缶

正しく使う 6つのポイント!

**1 危険性について**  
ガソリンは気温が-40°Cでも気化し、小さな火源でも、離れていても引火し爆発的に燃焼する物質です  
軽油は+40°Cで気化します

**2 容器について**  
灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です  
ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています

**3 購入について**  
セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません  
消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください

**4 保管について**  
ガソリンを容器に入れて、長期間、または不必要に保管することは極力控えてください  
空

**5 噴出事故防止について**  
ガソリン噴出は事故につながります  
取扱いは十分注意してください

**6 取扱いについて**  
使用時には取扱説明書をよく読み、適正な取扱いをしてください  
給油ノズル  
エア調整ネジ (エア抜き)  
キャップパッキン

**噴出注意**  
● 周囲の安全を確認  
● アップを回す前に  
● エンジン停止  
● エア抜きをする  
● 高温の場所禁止

ラベルのついた  
確かな製品を  
選びましょう



これが安心の印です。  
「試験確認済証」  
ガソリン携行缶には、使用上の注意事項が表示されています。よく読んで安全にお使い下さい。  
このラベルは、消防法による自衛性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。



危険物保安技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-13ヒューリック神谷町ビル  
TEL. 03-3436-2353



http://www.khk-syoubou.or.jp/  
危険物保安技術